

計画策定のスケジュール

令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	令和12年 (2030年)
京丹波町社協 地域福祉活動計画 第2期 (計画期間3年間)			京丹波町社協 地域福祉活動計画 第3期 (計画期間4年間)			第4期
実施・評価・次期計画策定			実施・評価 次期計画策定			
(参考)行政計画 京丹波町地域福祉計画 第1期 計画期間 平成29年~令和8年(10年間)			京丹波町地域福祉計画 第2期 計画期間 令和9年~			

計画の推進に向けて



本計画を推進するためのしくみとして、本会職員を中心としたプロジェクトチームにより、「PDCAサイクル」に基づいて継続的に進捗管理を行います。

令和6年度に計画を策定し、令和9年の第3期計画までに実行、評価、改善に取り組んでいきます。

- 京丹波町地域福祉活動計画策定プロジェクトアドバイザー
志藤 修史 大谷大学社会学部 教授
河野 拓也 (福)京都府社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 主事
- イラスト作者
土屋隆亮 JAHPON LAND

社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

令和6年3月

〒622-0311 京都府船井郡京丹波町和田中6-1
TEL 0771-86-1444
FAX 0771-88-0037
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>



ホームページ

京丹波町地域福祉活動計画

いつでも参加できる活動づくり

~いつでも どこでも 誰でも参加できる町に~

この計画は、京丹波町に暮らすすべての住民のみなさんのためのものです。地域には、さまざまな人が暮らしています。多くの人と知り合い・語り合い・関わり合い、みんなの力を合わせることで安心して暮らすことができる福祉のまちを目指します。

保存版



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

第2期計画の方針

いつでも参加できる活動づくり

~いつでも どこでも 誰でも参加できる町に~

思いを『かたち』にする場づくり

アンケート調査から、交通、老後の生活、地域の役割のなり手、等に課題を感じている人が多いこと、年代や世帯によっても困りごとに違いがあることが分かりました。それぞれの地域で自分たちの地域について話し合い、語り合うことで地域の困りごとを知り、解決に向けた仕組み（『かたち』にする場）を作っていきます。

『よいあんばいネット』づくり

1期の取り組みや1.5期の聞き取りで、地域には結び目（つながり）があることが分かりました。また2期のアンケートでは、一人暮らし世帯や一人親と子の世帯、若者、高齢者でも困りごとが多く、つながりが必要であることも分かりました。地域の中にあるつながりやそれぞれの見守りの活動である『地域の結び目』を、よいあんばい（ほどよい関わり）でつなぎ合わせ、もっと大きな『つながりのネット』を作っていきます。

誰もが『きょうどう』できるしくみづくり

日常生活の中では様々な困りごとがあり、地域のみなさんが力を合わせ『きょうどう』して、助け合うことが重要です。『きょうどう』という言葉には様々な漢字がありますが、それぞれ力を合わせて助け合うという意味で共通しています。お互いの5年後、10年後のことも考え、『きょうどう』できる仕組みを作りましょう。

思いを語り合える場づくり

人と人との結び目づくり

みんなの出番づくり

【第1期計画の方針】みんなが参加したくなる土壌づくり

第1期計画は、住民同士がお互いに知り合い、語り合い、関わり合うことで『福祉の土壌づくり』を進めることを目標に取り組みました。

第2期(2024年) 新型コロナウイルスの流行を受け、第1期計画をコロナ禍の活動に合わせ見直しました。

第1.5期(2022年)

第1期(2020年)

第3期(2026年)

第2期(2024年)

第1.5期(2022年)

第1期(2020年)

